

---

令和5年度

## 第2回 上越市青少年健全育成センター運営協議会

### 要 項

---

日 時 令和5年10月13日（金）  
午後2時～4時  
会 場 上越市教育プラザ 中会議室

上越市青少年健全育成センター

令和5年度 上越市青少年健全育成センター運営協議会委員名簿

No.	氏 名	推薦機関・団体名（役職等）	備考
1	梅 澤 健 一	上越市小学校長会（明治小学校長）	
2	山 岸 賢 一	上越市中学校長会（安塚中学校長）	
3	阿 部 慎	上越地区高等学校長協会（高田農業高等学校長）	
4	井 部 佐恵子	上越市民生委員・児童委員協議会連合会（民生委員・児童委員）	
5	市 川 直 行	上越地区保護司会（事務局長）	
6	本 多 和 利	上越警察署（生活安全課長）	
7	曾 我 茂 樹	前上越市青少年健全育成センター所長	
8	阿 部 利 夫	上越市町内会長連絡協議会（会長）	
9	北 峰 恵 祐	上越市地域青少年育成会議協議会（会長）	会 長
10	竹 内 恵 市	上越市子ども会連絡協議会（事務局長）	
11	藤 井 加奈子	上越市小中学校PTA連絡協議会（事務局）	
12	本 間 久美子	上越市青少年健全育成委員協議会（副会長）	副会長
13	鈴 木 真理子	上越市立教育センター（スクールソーシャルワーカー）	
14	大 堀 み き	公募委員	
15	吉 岡 智 宣	公募委員	

委員任期：令和4年6月1日から令和6年5月31日まで

# 次 第

---

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1) 青少年健全育成センター事業の進捗状況（4月～9月）

(2) 若者支援事業の進捗状況

(3) 情報交換

(4) その他

4 その他

5 閉 会

# 会議メモ

---

令和5年度  
第2回上越市青少年健全育成センター運営協議会  
資 料

1	令和5年度運営方針、活動事業計画	P 1～2
2	街頭指導の実施状況（4～9月）	P 3～5
3	特別街頭指導の実施状況	P 6
4	P T A街頭指導体験の実施状況	P 7～8
5	育成委員協議会研修会	P 8
6	環境浄化活動	P 9
7	健全育成活動（社会を明るくする運動）	P 9～10
8	若者育成支援事業	P 10～12
9	第1回センター運営協議会課題	P 12
	令和5年度当初予算 センター運営費の経費内訳	P 13

## 1 運営方針、活動事業計画

### 令和5年度 上越市青少年健全育成センター運営方針、活動事業計画

#### 1 運営方針

- (1) 青少年の健全育成のため、関係機関との情報共有及び連絡・調整を密にする。
- (2) 青少年の非行、犯罪及び被害防止のため、声かけを中心に街頭指導活動の充実に努める。
- (3) 困難を抱える若者育成支援のため、関係機関と連携して自立支援に向けた取組を推進する。
- (4) 複雑且つ低年齢化する少年非行から子どもたちを守るため、環境浄化活動の推進に努める。
- (5) 青少年の健全育成に対する市民の関心や意識を高めるため、広報活動の充実に努める。
- (6) 各地域青少年育成会議の自主的な取組を促し、活動の支援に努める。

#### 2 具体的な実施事項

##### (1) 関係機関・団体との連携の強化

- 小・中・高等学校・特別支援学校・警察連絡協議会との連携
- 上越警察署、上越少年サポートセンター、上越少年警察ボランティアとの連携
- 県福祉保健部子ども家庭課及び県内各青少年育成センターとの連携
- 青少年健全育成関係機関・団体との連携及び協働活動の推進
- 保護司会と連携した“社会を明るくする運動”上越市推進委員会事業の推進
- 地域青少年育成会議の活動推進のための支援

##### (2) 街頭指導活動の充実

- 継続的な街頭指導の実施及び青パトを活用した巡回指導の充実
    - ・52人（欠員3）、10班での重点的街頭指導の実施
    - ・月2回の青パト巡回指導の実施
  - 警察署、少年警察ボランティア、高校と連携した特別街頭指導の実施（7月、10月）
    - ・上越市防犯の日に合わせて南高田駅周辺と高田駅周辺で実施
  - PTA街頭指導体験の実施（6月・9月～11月） ※令和5年度に名称を変更
  - 育成委員の資質向上を図るための研修の実施
    - 第1回 全員研修【4月18日（火）】 教育プラザ大会議室 14:45～15:10  
講話：「街頭指導について」 講師：上越市青少年健全育成センター所長
    - 青パト研修 【5月11日（木）】 講師：上越警察署生活安全課生活安全係長 様
    - 第2回 全員研修【8月31日（木）】 教育プラザ大会議室 10:00～12:00  
講話1：「青少年を取り巻くインターネット環境について」  
講師：上越少年サポートセンター長 様  
講話2：「上越市における青少年非行の現状と課題」  
講師：上越警察署生活安全課長 様
    - 第3回 全員研修【10月25日（水）】 13:30～15:30  
口演：「楽しく笑って防犯落語」講師：三流亭 楽々 様
  - 育成委員の車輛に「子ども安全パトロール中」のマグネットシート着用を依頼し、「ながらパトロール」を実施
- ##### (3) 若者育成支援事業の推進
- 若者相談「若者ほっとライン」の周知徹底【継続】
    - ・市ホームページの更新、市施設へのチラシの配置
  - 若者の居場所（Fit）の開設と対応の充実【継続】
    - ・場所：教育プラザ1階
    - ・時間：月～金曜日 午前9時～午後5時（土・日曜日・祝日及び年末年始休日を除く）
    - ・内容：若者の自立支援活動、相談、対応等の実施

- 「上越市親の会」の開催【継続】
    - ・年6回開設（5月・7月・9月・11月・1月・3月）
    - ・場所：教育プラザ 大会議室
  - (4) 環境浄化活動の実施
    - 有害図書類販売店、有害図書类等自動販売機等の立入調査の実施と指導
    - 有害図書类等自動販売機撤去の継続的な取組の実施

※「青少年を取り巻く社会環境の実態調査」は令和4年度より廃止
  - (5) 広報活動の充実
    - 「青少年健全育成のあゆみ」の作成・配布（4月予定）
    - 「青少年健全育成委員協議会だより」の発行（6・10・2月予定）
    - 「青少年健全育成センターだより『愛育』」の発行（7・12・3月予定）
    - 広報上越及び市ホームページ、報道機関での情報提供（随時）
  - (6) 地域青少年育成会議活動推進のための支援
    - コーディネーター委員会の活動支援
    - 地域青少年育成会議実践事例発表及び意見交換会等の活動支援
- 3 その他
- 若者の居場所（Fit）を中核とする若者育成支援事業を重点的に推進する。

## 2 街頭指導の実施状況

令和5年度 4月・5月の街頭指導結果 ( )は昨年度実績

	4 月				5 月				
	1 出動回数	高田地区	6	( 6)	高田地区	6	( 5)	直江津地区	6
	直江津地区	6	( 6)	直江津地区	6	( 6)	合計	12	( 11)
	合計	12	(12)	合計	12	( 11)			
2 出動延人数	高田地区	21	(21)	高田地区	18	( 22)	直江津地区	22	( 27)
	直江津地区	25	(25)	直江津地区	22	( 27)	合計	40	( 49)
	合計	46	(46)	合計	40	( 49)			
3 注意・指導をした延人数	幼 児	0	( 0)	幼 児	0	( 14)	小学生	3	( 15)
	小学生	13	(10)	小学生	3	( 15)	中学生	0	( 15)
	中学生	3	(14)	中学生	0	( 15)	高校生	15	( 19)
	高校生	11	(13)	高校生	15	( 19)	計	18	( 63)
	計	27	(37)	計	18	( 63)			
4 主な内容	幼 児	小学生	中学生	高校生	幼 児	小学生	中学生	高校生	
ジベタリアン	0 (0)	2 ( 0)	0 ( 0)	11 (2)	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	10 (10)	
ゲーム機遊び	0 (0)	10 (10)	3 (11)	0 (5)	0 (14)	0 (15)	0 ( 9)	0 ( 0)	
カラオケ	0 (0)	0 ( 0)	0 ( 0)	0 (0)	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	
歩きスマホ	0 (0)	0 ( 0)	0 ( 0)	0 (2)	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	5 ( 7)	
交通ルール	0 (0)	1 ( 0)	0 ( 3)	0 (4)	0 ( 0)	3 ( 0)	0 ( 6)	0 ( 2)	
喫 煙	0 (0)	0 ( 0)	0 ( 0)	0 (0)	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	
その他	0 (0)	0 ( 0)	0 ( 0)	0 (0)	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	
5 挨拶・よびかけをした延人数	幼児	23	( 0)	幼児	13	( 13)	小学生	456	( 451)
	小学生	529	( 507)	小学生	456	( 451)	中学生	384	( 335)
	中学生	284	( 341)	中学生	384	( 335)	高校生	384	( 219)
	高校生	240	( 233)	高校生	384	( 219)	計	1,237	(1,018)
	計	1,076	( 1,081)	計	1,237	(1,018)			
3・5の集計	合計	1,103	( 1,118)	合計	1,255	(1,081)			

4 月	5 月
<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが元気にあいさつを返してくれた(4)。高田方面からの中高生が多かったが、自発的なあいさつがほぼ定着している。雅子妃の森公園で中学生が草むらで雑談していたが、声かけには丁寧に応え、地域の方とのあいさつもよくできていた。</li> <li>マスクの落し物が10枚ほどあった。</li> <li>晴天のため、多くの高校生がゲームセンターに来ていた。ゲーム場では親子連れが多かった。任意と言いながらマスクをしている子が多かった。ゲームコーナーには小・中学生が多い。</li> <li>自転車に乗っていた中学生6人がヘルメットなし。かぶるように声かけした。</li> <li>高田駅前立体駐車場屋上では、ペットボトルなどのごみが散乱していたので、片付けた。高田駅周辺に、吸い殻やサンドイッチの包装紙等多数散乱していた。駐車場屋上には車のバッテリーが放置されていた。</li> <li>駅前のジベタリアン2人を確認。指導員が近寄ったところ、他所へ移動した。駅前にいたジベタリアンに声かけして立ってもらおうとしたが、応じてもらえず。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今日は珍しく直江津東中の下校時と重なり、自転車通学の生徒の多さにびっくりした。天気もよくなり、公園で遊んでいる子どもたちがたくさんいた。</li> <li>小学生3人が自転車で並進していたので注意した(春日山町2丁目)。</li> <li>バイク2台(1台は2人乗り)後の1台が信号無視をしていた(駅前交差点)。</li> <li>立体駐車場に吸い殻、ペットボトル等各階に多数散乱していた。立体駐車場内に高校生らしき男女数名が何かしていた。ごみを持ち帰るよう声かけした。よい返事が返ってきたが…。歩きスマホの高校生も数人見えた。</li> <li>駅前でジベタリアン(女子3人)がいて、声かけしたが、返事をしてもしつこく気配がなかった。</li> <li>春日謙信交流館で高校生10数人が勉強していた。中間テスト中とのこと。</li> <li>春日謙信交流館発、巡回順路の街路樹には枯れ枝が多く、中にはやや太いものがあり、通行人や車に当たる可能性もある。</li> </ul>



令和5年度 6月・7月の街頭指導結果

( )は昨年度実績

	6 月				7 月			
	高田地区	直江津地区	合計	( )	高田地区	直江津地区	合計	( )
1 出動回数	高田地区	6	(6)		高田地区	6	(6)	
	直江津地区	6	(6)		直江津地区	6	(6)	
	合計	12	(12)		合計	12	(12)	
2 出動延人数	高田地区	27	(22)		高田地区	22	(25)	
	直江津地区	27	(26)		直江津地区	27	(23)	
	合計	54	(48)		合計	49	(48)	
3 注意・指導をした延人数	幼児	0	(4)		幼児	0	(0)	
	小学生	0	(12)		小学生	0	(6)	
	中学生	0	(5)		中学生	0	(18)	
	高校生	13	(16)		高校生	12	(38)	
	計	13	(37)		計	12	(62)	
4 主な内容	幼児	小学生	中学生	高校生	幼児	小学生	中学生	高校生
ジベタリアン	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (8)
ゲーム機遊び	0 (4)	0 (10)	0 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (6)	0 (8)	0 (0)
カラオケ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
歩きスマホ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (10)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
交通ルール	0 (0)	0 (2)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (10)	3 (30)
喫煙	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
5 挨拶・よびかけをした延人数	幼児	24	(15)		幼児	36	(8)	
	小学生	531	(603)		小学生	307	(336)	
	中学生	150	(124)		中学生	294	(195)	
	高校生	213	(202)		高校生	253	(271)	
	計	918	(944)		計	890	(810)	
3・5の集計	合計	931	(981)	合計	902	(872)		

6 月	7 月
<ul style="list-style-type: none"> <li>6月上旬は大貫の事件による臨時休校のため、子どもの姿は少なかった。有職少年と思われる男女が、立体駐車場でグループを作り、話し込んでいた。市内では白パイやパトカーが巡っていた。</li> <li>量販店やゲームコーナーでは家族連れや高校生が多く、買い物やゲームを楽しんでいた。</li> <li>直江津地区の小学生は、元気よく手を振ってあいさつを返してくれた。小学1年生の帽子ははっきりと判り、よいことである。</li> <li>高田駅前に高校生風のジベタリアンが数名いた（前に見た男女）。駅近くは子どもたちのたまり場になりそうなところがいっぱいあり、たばこの吸い殻が多少見られた。</li> <li>自転車の中学生へ信号に気を付けるよう声かけをしたら、明るい返答があった。交通マナー違反の注意では、直江津駅2階のあすか通りでの自転車乗車があった。</li> <li>今月から始まったPTA街頭指導体験の参加者の中には、育成委員の街頭指導を初めて知ったという方もいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大勢の中学生に出会えた。蒸し暑い中の下校、気を付けてと願う。手を振ってくれる子どもたちもいて嬉しくなる。</li> <li>春日山駅下車の高校生に大勢声かけした。元気な挨拶が返ってきた。謙信交流館に高校生15人ほど。テーブルや椅子に腰掛けてスマホをいじっていた。騒いでいる子はいなかった。</li> <li>ゲームセンターでは、親子20組ほど。全ての子どもの親が付いていた。アピナ、イオンのゲームスタッフに、夏休みに入ってからの子どもたちの動向に目配りをお願いした。</li> <li>歩道で自転車、ボードの小学生がいたので、声をかけた。</li> <li>25日の高田は祭りのため人出が多く、特に小学生のみで来ている子どもたちに声かけをした。駅前駐車場にたばこの吸い殻が20本くらいあった。街中のゴミも多かった。高校生の「交通ルール無視」は、駅前ロータリーでの自転車の逆走である。</li> </ul>

令和5年度 8月・9月の街頭指導結果

( )は昨年度実績

	8 月				9 月				
	1 出動回数	高田地区	6	( 8)	高田地区	5	( 8)	直江津地区	6
	直江津地区	6	( 9)	直江津地区	6	( 7)	合計	11	( 15)
	合計	12	( 17)	合計	11	( 15)			
2 出動延人数	高田地区	19	( 30)	高田地区	10	( 27)	直江津地区	25	( 28)
	直江津地区	25	( 34)	直江津地区	25	( 28)	合計	35	( 55)
	合計	44	( 64)	合計	35	( 55)			
3 注意・指導をした延人数	幼 児	0	( 12)	幼 児	0	( 5)	小学生	0	( 20)
	小学生	0	( 22)	小学生	0	( 20)	中学生	0	( 11)
	中学生	0	( 42)	中学生	0	( 11)	高校生	13	( 15)
	高校生	4	( 0)	高校生	13	( 15)	計	13	( 51)
	計	4	( 76)	計	13	( 51)			
4 主な内容	幼 児	小学生	中学生	高校生	幼 児	小学生	中学生	高校生	
ジベタリアン	0( 0)	0( 0)	0( 0)	3( 0)	0( 0)	0( 0)	0( 0)	0( 12)	
ゲーム機遊び	0( 12)	0( 22)	0( 42)	0( 0)	0( 5)	0( 18)	0( 11)	0( 3)	
カラオケ	0( 0)	0( 0)	0( 0)	0( 0)	0( 0)	0( 0)	0( 0)	0( 0)	
歩きスマホ	0( 0)	0( 0)	0( 0)	0( 0)	0( 0)	0( 0)	0( 0)	5( 0)	
交通ルール	0( 0)	0( 0)	0( 0)	0( 0)	0( 0)	0( 2)	0( 0)	0( 0)	
喫 煙	0( 0)	0( 0)	0( 0)	0( 0)	0( 0)	0( 0)	0( 0)	0( 0)	
その他	0( 0)	0( 0)	0( 0)	1( 0)	0( 0)	0( 0)	0( 0)	8( 0)	
5 挨拶・よびかけをした延人数	幼児	14	( 33)	幼児	13	( 8)	小学生	350	(386)
	小学生	54	( 57)	小学生	350	(386)	中学生	274	(430)
	中学生	90	(100)	中学生	274	(430)	高校生	262	(413)
	高校生	69	(141)	高校生	262	(413)	計	899	(1, 237)
	計	227	(331)	計	899	(1, 237)			
3・5の集計	合計	231	(407)	合計	912	(1, 288)			

8 月	9 月
<ul style="list-style-type: none"> <li>・連日の猛暑のため、屋外で歩いていたり遊んでいたりする子どもたちの姿はほとんどなかった(同様の記述多数)。アピナ等ゲームセンターは涼しいので、親子連れや高校生が多くいた。同様に涼しい雪小町、ライブワンにも中高生がたくさんいた。</li> <li>・駅前駐輪場は部活の生徒のため、ほぼ常時満車とのこと。駐車場では車が少なく、子どもの姿も見られなかった。ゴミ・たばこも少なかった。</li> <li>・「その他」の1人は、高田駅待合所での熱中症の女子高生。意識はあるが冷汗がひどく、椅子に座るのも辛いようで、地べたに横たわっていた。駅員に事情を話し、見とりを引き継いだ。</li> <li>・歩道を自転車で走行する小学生3人、中学生2人、春日山駅前では女子高生2人の自転車二人乗りを目撃したが、距離があったため声かけできなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下校時間や電車の到着にタイミングが合っ、多くの小中高生にあいさつ・呼びかけをした際は、元気な返事をしてくれて、育成委員も元気をもらうことができた。互いに上越市民としての絆や信頼関係を醸成できればと期待したい。</li> <li>・春日謙信交流館では、グループで仲間と静かに勉強している高校生のグループが見られた。</li> <li>・アピナ駐車場では、鍵の掛かっている自転車が目立った。同様に春日山駅前の自転車にも未施錠が数台あった。</li> <li>・高校生が2人で1つのスマホを見ながら歩いていたので注意した(2か所で計5人「歩きスマホ」あり)。</li> <li>・高田駅前立体駐車場の屋上に男子高校生8人(私服で上半身裸)がたむろしており、声かけた。その後、女子も含め3~4人がエレベーターで上がったので、交番に見回りを依頼した(「その他」欄)。</li> </ul>

### 3 特別街頭指導の実施状況

	第 1 回	第 2 回
日 時	令和5年7月7日（金） 15：30～17：00	令和5年10月5日（木） 15：30～17：00
場 所	・トキめき鉄道南高田駅周辺	・トキめき鉄道高田駅周辺
参加団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上越地区少年警察ボランティア</li> <li>・上越警察署生活安全課</li> <li>・青少年健全育成委員</li> <li>・青少年健全育成センター (協力をお願いする学校・各校1人)</li> <li>・高田南城高校</li> <li>・高田商業高校</li> <li>・高田農業高</li> <li>・関根学園高校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上越地区少年警察ボランティア</li> <li>・上越少年サポートセンター</li> <li>・上越警察署生活安全課</li> <li>・青少年健全育成委員</li> <li>・青少年健全育成センター (協力をお願いする学校・各校1人)</li> <li>・高田高校</li> <li>・高田北城高校</li> <li>・上越総合技術高校</li> <li>・上越高校</li> <li>・直江津中等教育学校</li> </ul>
集合場所	・南高田駅前	・高田駅（駅前交番付近）
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南高田駅の利用状況、マナー</li> <li>・自転車乗り</li> <li>・南高田駅周辺の街頭指導</li> <li>・その他 状況判断し指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高田駅の利用状況、マナー</li> <li>・自転車乗り</li> <li>・高田駅周辺の街頭指導</li> <li>・その他 状況判断し指導</li> </ul>

#### 第1回特別街頭指導の様子：「育成委員協議会だより」より

7月7日（金）、「上越防犯の日」に合わせて実施しました。例年どおり、育成委員と少年警察ボランティア、上越警察署生活安全課、少年サポートセンター、市内高校4校教員の皆さん、合わせて21人で、南高田駅を利用する高校生を中心に声掛けを行いました。

駅の利用マナーは概ね良好で、元気に挨拶する生徒も多くいました。自転車で走行する際は、標識等を確認の上で歩道か車道かのどちらかを正しく選ばなければなりません。交通量の多い車道では、事故に遭わないよう十分な注意が必要との指摘が参加者側からありました。



間嶋石油店前交差点での指導・声かけ



実施後の情報交換・振り返り

#### 4 P T A街頭指導体験の実施状況

(1) 実施期間 令和5年6月、9月、10月、11月

(2) 実施日・参加人数 ※6月・9月は実際の参加人数で、10月以降は予定の人数。

月	日	曜	コースと参加PTA	参加人数	育成委員担当
6月	2	金	Aコース：諏訪小学校、板倉小学校、和田小学校	2人	高田 3班
	3	土	Eコース：南本町小学校、美守小学校、清里中学校	3人	直江津 3班
	6	火	Dコース：直江津小学校、大湯町小学校、保倉小学校	2人	直江津 1班
	13	火	Aコース：城北中学校、飯小学校、高田西小学校	2人	高田 2班
	16	金	Dコース：上下浜小学校、国府小学校	1人	直江津 2班
	17	土	Bコース：三和中学校、東本町小学校	2人	高田 5班
	19	月	Aコース：里公小学校、豊原小学校	2人	高田 1班
	21	水	Cコース：明治小学校	なし	高田 4班
	23	金	Cコース：高志小学校、春日中学校	2人	直江津 5班
24	土	Fコース：八千浦中学校	1人	直江津 4班	
9月	5	火	Dコース：谷浜小学校	なし	直江津 1班
	9	土	Bコース：板倉中学校 Fコース：直江津東中学校、春日新田小学校	1人 2人	高田 5班 直江津 4班
	20	水	Cコース：春日小学校	1人	高田 4班
10月	6	金	Aコース：高田西小学校	1人	高田 3班
	14	土	Fコース：直江津南小学校、有田小学校、頸城中学校	3人	直江津 4班
11月	17	金	Aコース：高士小学校 Cコース：牧小学校	1人 1人	高田 3班 直江津 5班

##### <街頭指導コース>

- A：高田駅周辺、立体駐駐輪場、本町通りなど
- B：ウイングマーケット周辺、ドン・キホーテなど
- C：春日山駅、謙信公広場、原信、雅子妃の森など
- D：直江津駅周辺、直江津ショッピングセンターなど
- E：イオンスーパー、ゼビオ、デポ、アピナなど
- F：イオン上越店周辺、蔦屋書店、ジョーシンなど

##### <参加申込PTA>

	5年度	4年度
・小学校	23校	20校
・中学校	9校	13校
計	32校	33校

※5年度は、高田西小のみ2回分申込み。  
※5年度の実際の参加人数は、10月以降に欠席がなければ27人になる見込み。

(3) 参加者の感想（抜粋）

- ・周辺の店舗やトイレを一つ一つ回り、学生に丁寧に声かけをしてくださっている姿が素晴らしいと思いました。駅の立体駐車場で集まっている子たちにしっかりと声をかけ、大人でも避けてしまうような状況でも対応してくださっているのだとありがたく思いました。
- ・買い物をされている方々は、思っていたよりこちらを意識していると感じました。こうした活動が犯罪や非行の抑止につながっていることについて、日頃より活動されている育成委員の方々には感謝しかありません。保護者として子どもを見守ることの大切さを改めて意識しました。
- ・育成委員と下校中の小・中学生が互いに声を掛け合っていて、雰囲気の良い取組でした。
- ・駅構内・ホームでの子どもたちの様子を見ての声掛け、近隣のコンビニ等店舗・公園や公衆トイレに至るまで、とても細かく点検や指導に当たっておられることが分かりました。特に子どもたちへの声掛けについては、状況をその場で判断し、否定せず励ましたり、温かな態度で接したりなど、とても参考になりました。
- ・いろいろと説明していただきながらの街頭指導体験は分かりやすかったです。

#### (4) ここまでの振り返り

昨年度までの「PTA一日街頭指導」を改め、育成委員による街頭指導の体験を主なねらいとした。加えて、猛暑のため参加者の負担が多く、屋外での子どもの姿が少なくなる8月を実施期間から外す形での実施とした。

急な都合等により、欠席が数名出たことは残念であるが、参加者の記録票には、街頭指導の意義と育成委員の取組について、全員から肯定的な評価が記されていた。街頭指導体験を通して得た情報を校内のPTA会員と共有し、自校での見守り活動や生活の指導に生かしてほしいと考えている。

なお、全日程終了後、実施報告の資料を市内小・中学校に送付する予定である。

## 5 育成委員協議会研修会

### 第1回研修会

- 1 日時 令和5年4月18日(火) 14:45~15:10
- 2 会場 教育プラザ 研修棟3階 大会議室
- 3 参加者 育成委員43人
- 4 内容 講話：「街頭指導について」 ※育成委員協議会総会に引き続き実施  
講師：上越市青少年健全育成センター所長 池田 隆

### 青パト研修会

- 1 日時 令和5年5月11日(火) 15:00~16:00
- 2 会場 教育プラザ 研修棟1階 若者の居場所Fit
- 3 参加者 育成委員12人(青色パトロール実施者)
- 4 内容 講習：「青色防犯パトロールの手引き」を使って  
講師：上越警察署生活安全課生活安全係長 勝山 豊 様

### 第2回研修会

- 1 日時 令和5年8月31日(木) 10:00~12:00
- 2 会場 教育プラザ 研修棟3階 大会議室
- 3 参加者 育成委員36人
- 4 内容 講話1：「青少年を取り巻くインターネット環境について～ネットトラブルの現状と対策」  
講師：上越少年サポートセンター長 上村 順子 様  
講話2：「上越市における青少年非行の現状と課題」  
講師：上越警察署生活安全課長 本多 和利 様

### 第3回研修会(予定)

- 1 日時 令和5年10月25日(水) 13:30~15:30
- 2 会場 教育プラザ 研修棟3階 大会議室
- 3 内容 口演：「楽しく笑って防犯落語」  
講師：三流亭 楽々 様

当初は市外施設への訪問研修を予定していたが、候補施設の感染対策等により人数が制限されたことなどから、市外より講師を招く研修に変更した。

楽々様は新潟県落語会会員、新潟県防犯アドバイザー。昭和47年から平成23年まで新潟県警に在職。平成24年第4回社会人落語日本一決定戦優勝。当日は地域防犯を中心に、街頭指導にも生きるお話をいただく。

## 6 環境浄化活動

### 立入調査

令和5年9月27日（水）（図書類自動販売機 3台）

No.	予定時間	店舗名／設置箇所	参加者
1	9:30から 10:00まで	有限会社 北陸自販 上越市三和区下中 1237 番地 (3台)	・北陸自販担当者 ・上越警察署立入調査員 ・杉原調査員（育成委員） ・センター所長、指導員

県青少年健全育成条例に基づく立入調査を上記の内容で行った。現地にて全販売物品を調べ、条例に対する違反がないことを確認した。また、販売所やその周辺の整理状況、「18歳未満立入禁止」表示などについても確認したが、全般によく整備されていた。

調査後、上越警察署生活安全課係長から設置業者に対して、「法にふれるものはなかった。今後も引き続き条例を遵守するように」との指導があった。

## 7 健全育成活動（社会を明るくする運動）

### 第73回“社会を明るくする運動”

青少年健全育成センター池田所長、野池指導員は、社会を明るくする運動の事務局として各活動に参加

#### [ 上越市推進委員会 ]

- ・日時 6月2日（金）13:30～14:30
- ・会場 上越市教育プラザ大会議室
- ・内容 役員体制の確認、事業報告・決算報告、事業計画・予算の審議他
- ・参加者 31人（育成委員協議会長参加）

#### [ 宣伝用懸垂幕掲示 ]

- ・市内2箇所 市役所木田庁舎  
大手町ひろば（高田郵便局隣）

#### [ 街頭宣伝活動 ]

##### ○ 高田地区

- ・日時 7月2日（日）9:30～  
出発式：雁木通りプラザ
- ・活動場所 二七の市（大町通り）、上越モール  
イレブンプラザ、イオン
- ・参加者 38人（育成委員5人参加）
- ・内容 広告入り抗菌ウェットティッシュの配布

##### ○ 直江津地区

- ・日時 7月3日（月）9:30～  
出発式：直江津レインボーセンター
- ・活動場所 三八の市、水族博物館  
直江津ショッピングセンター



推進委員会（6月2日）



懸垂幕掲示（市役所木田庁舎）



- ・参加者 30人（育成委員4人参加）
- ・内容 広告入り抗菌ウェットティッシュの配布



街頭宣伝活動（高田・7月2日）



出発式 会長挨拶（直江津・7月3日）

[ 上越市青少年健全育成研究会 ]

- ・日時 9月14日（木）13:30～
- ・会場 上越市市民プラザ 第3会議室
- ・参加者 59人
- ・内容 基調講演 講師：新潟県就労支援事業者機構事務局長 平野 一明 様

[ その他 ]

- ・ポスター掲示など日常の啓発活動を実施

**8 若者育成支援事業**

若者育成支援事業の進捗状況（4月1日～9月30日）

1 若者支援活動の広報（若者の居場所Fit、相談活動、親の会開催等の周知）

- (1) ポスターの掲示、チラシの配布、市ホームページへの掲載など
- (2) 小・中・高等学校との連携・・・保護者あての文書の配布など

2 若者の居場所（Fit）の利用

(1) 利用回数

	回数	実数
4月	39回	15人
5月	34回	13人
6月	40回	15人
7月	33回	13人
8月	28回	11人
9月	40回	19人
合計	214回	

(2) Fit 対象者年齢層

年齢層	男	女	合計
15～18歳	6	3	9人
19～25歳	6	5	11人
26～30歳	3	3	6人
31歳以上	0	0	0人
合計	15	11	26人

（昨年同時期 128回、利用者17人）

(3) 内容 相談、学習支援、交流活動 など

(4) 場所 教育プラザ1階

(5) その他

教育プラザ1階の部屋を若者の居場所Fitとして固定して利用できている。相談担当の職員がおり、Fitの運営体制が整っている。

### 3 相談・面談活動 (Fit を含む)

#### (1) 相談回数

	回数	人数
4月	42回	17人
5月	41回	18人
6月	40回	15人
7月	33回	13人
8月	38回	16人
9月	41回	20人
合計	235回	

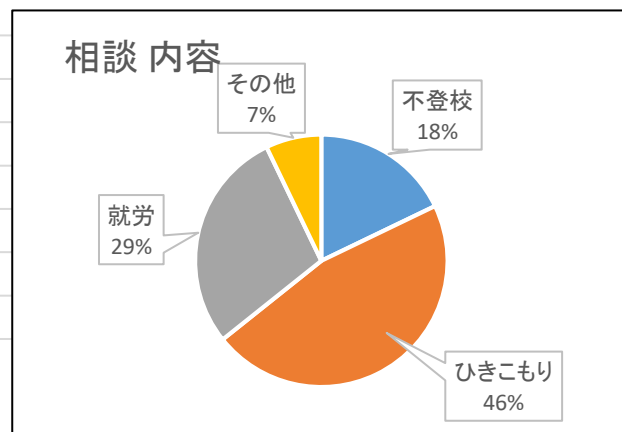
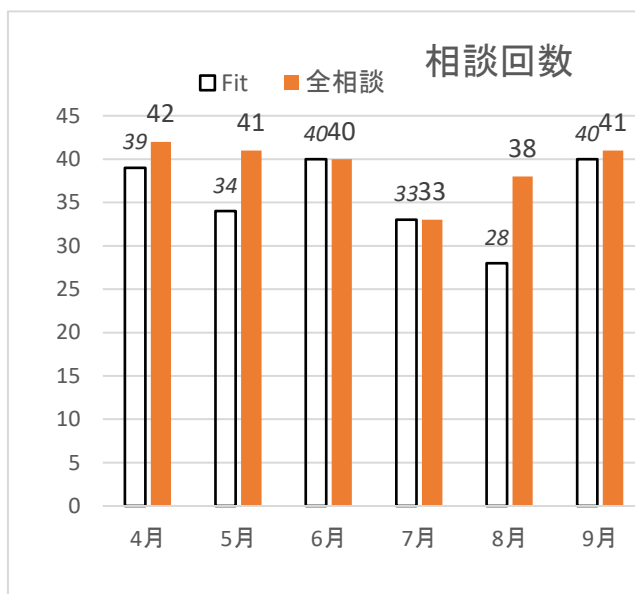
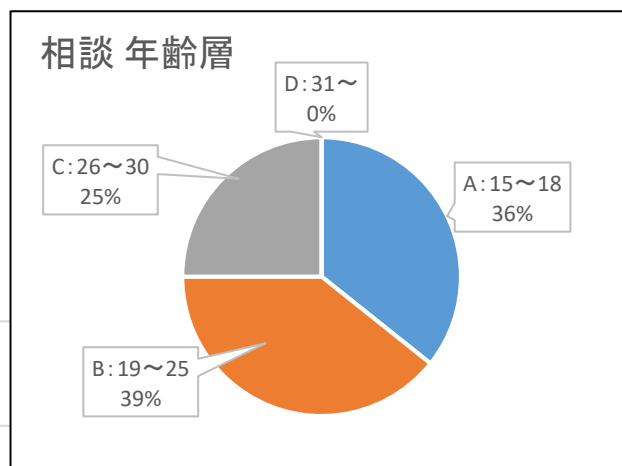
#### (2) 相談対象者年齢層

年齢層	男	女	合計
A: 15~18歳	7	3	10人
B: 19~25歳	6	5	11人
C: 26~30歳	4	3	7人
D: 31歳以上	0	0	0人
合計	17	11	28人

(昨年同時期 154回、30人)

#### (3) 主な相談内容

相談内容	男	女	合計
不登校(傾向)	5	0	5人
ひきこもり	8	5	13人
就 労	3	5	8人
その他	1	1	2人
合計	17	11	28人



#### (4) まとめ

- Fit の利用回数 214 回は昨年度同期の 128 回と比べ 1.7 倍の大幅な増加となり、相談対象者も昨年度の 17 人から今年度は 26 人に増加した。
- Fit を含む全相談件数は昨年度よりも 1.5 倍増加した。相談内容は、今年度もひきこもりが一番多く、全体の約半数 46%を占めている。
- 相談年齢層では、昨年度 13%であった 15~18 歳の割合が 36%になり、昨年度の約 3 倍である。今年度は、中学校時代に不登校であった生徒が高校入学直後から不登校になり、学校、すこやかにくらし包括支援センター、病院などからの紹介で、来所するケースが増加している。
- Fit で人間関係の練習を重ねて包括支援センターにつなぎ、そこから就労へと向かっている利用者も出てきている。
- 以上をまとめると、不登校経験者が外部の紹介によって、Fit を利用するケースが増えており、ひきこもり相談の割合が最も高くなっている。



#### 4 「上越市の親の会」の開催

不登校やひきこもりなど、子どもへの悩みをもつ親同士が語り合い支え合いながら、問題の解決へとつなげようとする活動

(令和元年度6回開催、令和2年度4回開催：2回中止、令和3年度6回開催、令和4年度6回開催)

##### (1) 第1回親の会

- ① 開催日時 令和5年5月13日(土) 13:30~15:30
- ② 会場 上越市教育プラザ(大会議室)
- ③ 参加者 22人(一般参加者13人, ピアサポーター5人, カウンセラー1人, センター職員3人)
- ④ 主な内容 グループ懇談(4グループ)
- ⑤ 参加の感想 気持ちを話して心が軽くなった(7)、子どもの気持ちを理解したいと思った(8)、自分だけじゃないと思えた(11)、子どもと向き合う元気をもらった(8)、誰かに話を聞いてほしかった(5)、相談できる場が増えた(6) (複数回答)

##### (2) 第2回親の会

- ① 開催日時 令和5年7月8日(土) 13:30~15:30
- ② 会場 上越市教育プラザ(大会議室)
- ③ 参加者 14人(一般参加者6人, ピアサポーター4人, カウンセラー1人, センター職員3人)
- ④ 主な内容 グループ懇談(3グループ)
- ⑤ 参加の感想 気持ちを話して心が軽くなった(3)、子どもの気持ちを理解したいと思った(3) 自分だけじゃないと思えた(2)、子どもと向き合う元気をもらった(1)、誰かに話を聞いてほしかった(2)、相談できる場が増えた(5) (複数回答)

##### (3) 第3回親の会

- ① 開催日時 令和5年9月9日(土) 13:30~15:30
- ② 会場 上越市教育プラザ(大会議室)
- ③ 参加者 11名(一般参加者3人, ピアサポーター4人, カウンセラー1人, センター職員3人)
- ④ 主な内容 グループ懇談(2グループ)
- ⑤ 参加の感想 気持ちを話して心が軽くなった(2)、自分だけじゃないと思えた(2)、子どもと向き合う元気をもらった(1)、相談できる場が増えた(1) (複数回答)

(今後の予定)

第4回 令和5年11月11日(土)、 第5回 令和6年1月20日(土)

第6回 令和6年3月9日(土)

#### 9 第1回センター運営協議会で北峰会長より課題とされたこと

1 包括支援センターとつながっているFitの利用者が増えているということであれば、同センターの職員からも当運営協議会のメンバーに入っていただくのがよいのではないかと。

・当センター指導員は、それぞれの利用者のケースに応じて、「すこやかなくらし包括支援センター」や18歳以上で学校に在籍していない利用者の居住地にある「地域包括支援センター」と日々緊密に連絡を取り合っている。当運営協議会委員としてセンター事業全般について意見をいただくよりは、利用者の社会参加と自立を促す現在の連携を継続させることに重点を置きたい。

2 青少年健全育成センターが行っている事業の裏付けとなる予算を「見える化」した方が、当運営協議会の参会者からも、よりよく事業を理解していただけるのではないかと。

・予算・決算の承認を当運営協議会でいただくことはできないが、ご指摘を受け、次のページのとおり令和5年度の予算をお示ししたので、参照願いたい。

【資料】 令和5年度当初予算 (事業名) 青少年健全育成センター運営費の経費内訳

単位：千円

会計年度任用職員報酬	5,087	普通旅費	16
青少年健全育成委員報酬	1,571	消耗品費	101
青少年健全育成センター運営協議会委員報酬		印刷製本費	116
	135	通信運搬費	141
青少年問題協議会委員報酬	50	筆耕翻訳料	2
会計年度任用職員期末手当	1,081	複写機借上料	205
会計年度任用職員共済組合負担金	1,067	有料道路使用料	16
雇用保険料	89	私有車借上料	20
報償金	122	諸会議出席負担金	2
費用弁償	153	地域青少年育成会議活動事業交付金	9,436
会計年度任用職員費用弁償	184		

合計 19,594

(説明)

青少年健全育成センター運営費とは、次の2つの事業を合体したものである。

- |                               |           |
|-------------------------------|-----------|
| ① 青少年健全育成支援事業（青少年健全育成センター執行分） | 10,158    |
| ② 地域青少年育成会議活動支援（社会教育課執行分）     | 9,436     |
|                               | 合計 19,594 |